

平成29年度 進路指導の方針

1 進路指導の重点目標

生徒が自己の生き方を考え、主体的に進路を選択し実現することができるよう、教育活動全体をとおして、計画的、組織的な指導を行う。

- (1) 自学自習の習慣を身に付させるとともに、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える力等の「確かな学力」の育成をはかり、進路実現に必要な学力をはぐくむ。（学校教育自己診断における「家庭学習時間の確保」肯定率43%、「補習講習を行っている」満足度67%）
- (2) 生徒一人ひとりが自分の将来の生き方への関心を高め、自己の能力・適性の発見と開発に努めて、自らの意志で自己の進路を選択するとともに、自己実現に必要な力の伸張がはかれるよう、積極的に指導・支援する。（「進路指導満足度」75%）
- (3) 生徒一人ひとりが豊かな勤労観・職業観を身につけ、自立した社会人として有為な人材に育つよう、生き方やあり方を考える意欲・態度や能力を高める。そのためのキャリア教育をすすめる。
- (4) 自分の興味・関心、個性や特徴を考えさせ、前向きな進路選択をさせる。そのために、ガイダンスや進路に関するホームルームを充実させるとともに、きめ細やかな個別指導を行う。

2 学年別指導目標

- (1) 1年進路指導目標
 - ア 高校での学習の仕方を学ばせ、学習習慣をつけさせる。
 - イ 自己を見つめ、3年後の自分の進路を意識しながら前向きなエリア選択をさせる。
- (2) 2年進路指導目標
 - ア 学習に励ませる。
 - イ 大学・短大・専門学校の学部・学科、就職における職種など、具体的な進路先を考えさせる。
 - ウ 大学・短大・専門学校受験のしくみ、就職のしくみ、公務員受験のしくみを理解させる。
- (3) 3年進路指導目標
志望先の上級学校、事業所等について情報収集させ、後悔のない進路実現ができるよう目標を立てて、学習させる。

3 進路指導部による進路学習支援

- (1) 進路指導計画の策定、実施
- (2) 生徒への進路情報の提供
- (3) 保護者への情報提供と進路説明会の実施
- (4) 実力試験・模擬試験の紹介、実施
- (5) 講習会の企画、実施
- (6) 自習室の活用
- (7) 奨学金に関する情報提供および申請手続き

4 進路指導部内 役割分担

部長 (田中)
進学関係 大学・短大 (川端) 専門学校 (大谷) 医療・看護系 (山下剛、藤澤)
センター試験 (藤井)
就職関係 (島袋) (宮崎) (岡田) 公務員 (大谷)
奨学金 (藤澤) (川端) (大谷) (岡田) (藤井)
学年 第1学年 (太田) (鈴木里) 第2学年 (仲井) (鈴木孝) 第3学年 (川崎) (松田)